

天童高原産「でわかおり」

昭和63年に山形県立農業試験場で、風味の良い大粒の新品種山形ソバ4号として育成され、その後「でわかおり」の名前で県の推奨品種として栽培されています。

天童高原では、平成10年に施設を維持管理していた（財）天童市牧野公社が、標高600メートルの高冷地で異品種との交配の心配が無い環境を利用して、種子用として「でわかおり」の栽培を始めました。

平成11年から夏季間の土日、祝日営業の「そば道場」を開店して、手打ちそばの提供を始めました。平成13年度からは、栽培面積を徐々に拡大してきましたが、平成23年度で（財）天童市牧野公社が解散したため、この事業を継続するため、実行委員会が組織されました。その後、平成26年度よりNPO天童高原が指定管理を受け現在に至っております。

令和4年度現在

栽培品種 でわかおり

栽培面積 2.03 ha